



みやこ 議会だより

2023.8.1

第75号



花しょうぶまつりにようこそ!
6月10日(土)花しょうぶ園にて

6月定例会の審査報告 …………… 2~6P
議会の活動報告 …………… 7P
12名の議員が町政を問う …………… 8~19P
がんばっちょる!! …………… 20P

委員会審査報告

6月定例会で総務産業・文教厚生・予算決算常任委員会に付託された
主な議案の審査概要を報告します。

総務産業常任委員会(6月8日)

みやこ町国民健康保険条例の改正

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少した被保険者の令和4年度以前分の保険料を令和5年4月1日以降も引き続き減免するもの。

問(熊谷みえ子) 現在の減免状況は。

答(税務課長) 令和2年度に24件の申請で22件減免、3年度は5件の申請で4件減免、4年度は1件の申請で1件減免。

みやこ町防災行政無線犀川地区の再整備に係る工事請負契約の締結

当初の整備から16年を経過しているため、設備を更新するもの。

の。また、併せて電波が弱い地域をカバーする。

問(梅本智明) 今回は犀川地区だが、今後、勝山、豊津地区も再整備をするのか。またその予定は。

答(総務課長) あくまでも予定であるが、令和7年度くらいから豊津地区、令和11年度くらいから勝山地区で再整備を行う。

問(熊谷みえ子) 機器等の耐用年数は。

答(総務課長) 鉄塔、電柱などは30年、受信機などは9年。

町道路線の認定について

(金田1号線・2号線)

犀川本庄の分譲地に係る町道路線について認定するもの。

文教厚生常任委員会(6月9日)

みやこ町地域福祉総合計画審議会設置条例の制定

地域福祉計画や障害福祉計画など、これまで分野ごとに策定していたが、複雑化、複合化した福祉の諸課題に対応するため、新たに成年後見制度利用計画を盛り込み、総合的な計画として、みやこ町地域福祉総合計画を策定することとしたため、その審議会を設置する。

問(柿野義直) 総合計画ということは、相当な量になると思うが、分野ごとに定める内容となるのか。

答(保険福祉課長) 分野ごとに分けるのではなく、諸課題を融合して一つの計画を立てることとしている。

みやこ町介護保険条例の改正

新型コロナウイルス感染症の影響を受け、収入が減少した被保険者の令和4年度以前分の保険料を、令和5年4月1日以降も引き続き減免するもの。



児童遊園

みやこ町児童遊園条例の改正

児童減少に伴い児童遊園を利用する児童がいなくなつたため、届出により崎山児童遊園と谷口児童遊園を廃止する。

問(柿野義直) 廃止後の遊具の撤去は。

答(子育て健康支援課長) 遊具の撤去については、既に老朽化しており、全て撤去が終わっている。

小中学校授業用モニター購入に係る備品購入契約の締結

GIGAスクール構想の実現に向けた、小中学校で使用する授業用モニターの購入。

諫山小、伊良原小に各1台、久保小、黒田小、犀川小に各3台、来年開校予定の新豊津小が12台、中学校に各1台。合計27台配置。



小中学校授業用モニター

問 (柿野直子) ICT支援員の配置状況は。

答 (学校教育課長) 町雇用で1名、業務委託している業者から2名、計3名。

問 (松本潤) モニター購入はいいと思うが、やはり鉛筆やシャープペンシルなどで字を書く、分からないことは辞書で調べるといことが大事なので、それを基本的に機器を活用するという取り扱いをして欲しい。

答 (学校教育課長) 教育の基本となるのは書くことと、読むこと。あくまで補助道具であると認識している。

問 (大東英壽) 入札に関して。予定価格と入札価格の差が大きい。予定価格の基準を見直す必要があるのでは。

答 (学校教育課長) 今回購入予定の機種は、いわゆるオープン価格である。予算編成段階から市場調査をしてきたが、半導体不足の状況が続いており、電気製品の品薄と値上げが憂慮されていたため、市場調査の結果により、比較的高い方の金額で設計した。その結果、落札率が60%程度と

なったが、予定価格を超える業者もあるなど、ばらつきがある。それぞれの会社の企業努力、販売力の差が数字に現れたのではないかと理解している。

問 (大東英壽) 何らかの基準を作れないか。

答 (副町長) なるべく多く見積りを取って比較するなど、方法を検討し実施していきたい。

予算決算常任委員会
(6月12日)

〈学校給食費の免除〉

令和5年度の給食費について、4月にさかのぼり、来年3月までの1年間、児童・生徒の給食費を全額免除する。

〈施設園芸経営継続支援金〉

予算額 530万円

燃料や原料費の価格が高騰する中、特に農業経営に占める燃料費、資材費の割合が多い施設園芸

農家が大きく影響を受けているため、施設の規模に応じて支援する。
〈物価高騰対応営農継続支援金〉

予算額 2228万円

普通作や露地、無加温による園芸農家も燃料費の高騰の影響を受けているため、作付面積に応じて支援する。

問 (飯本秀夫) 同じ圃場で2作以上した場合は、その分助成されるのか。

答 (農林業振興課長) 農産物の作付面積を基準に考えている。

問 (熊谷みえ子) 対象者数の根拠は。
答 (農林業振興課長) 2022年の農林業センサスによる出荷者農家数を参考にしている。

問 (熊谷みえ子) 申請主義ということだが、周知の方法は。

答 (農林業振興課長) 広報等で周知をしていきたい。

令和5年第3回定例会 議案議決結果及び議員別賛否一覧表

令和5年第3回定例会を6月5日から6月16日までの12日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

議案名	議員名	岩村宗一郎	松本潤	柿野直子	六田一美	石松雄太	小田勝彦	飯本秀夫	中尾昌廣	大束英壽	柿野義直	原田和美	熊谷みえ子	梅本智明	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (令和5年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計補正予算(第1号))		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	承認
みやこ町教育委員会委員の任命について (原田直美氏)		○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	欠	○	○	同意
みやこ町地域福祉総合計画審議会設置条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町介護保険条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町児童遊園条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について(金田1号線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
町道路線の認定について(金田2号線)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
工事請負契約の締結について (みやこ町防災行政無線(犀川地区)再整備工事)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
備品購入契約の締結について (小中学校授業用モニター購入)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町一般会計補正予算(第3号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町介護保険事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
令和5年度みやこ町水道事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
少人数学級・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2024年度政府予算に係る意見書(案)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書(案)について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対、欠は欠席、除は除斥。

第三セクターの経営状況について(報告)

【豊津まちづくり有限会社】(国府の郷)

<令和4年度>

売上総利益が85,683,564円。当期利益は444,915円。

- ①施設修繕等 老朽化した空調設備・トイレの水漏れの修繕 3,729千円
施設機器の取得等 4,290千円
- ②出荷促進活動 「けいちく甘キャベツ」の販売額・数量の増加
出荷野菜栽培講習会は新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止。
- ③販売促進活動 ジビエ即売会の開催。季節商品の強化。
- ④地域への貢献 地元産スイートコーン即売会「スイートコーン祭り」、
地場産品を中心とした土曜市等



<令和5年度>

直売所売上計画は550,000千円。経常利益は1,200千円。

直売所事業では、①新規会員の積極的な獲得、②既存会員の新規商品の拡充、③ふるさと納税事業の拡充、をおこなう。

【有限会社 犀川四季犀館】

<令和4年度>

売上総利益が53,734,790円。当期損失は1,360,001円。

- 1. 生産者の育成・所得向上 圃場の視察、販売力のある品目の提案。
- 2. 食の安全・安心 生産履歴の記帳・提出を徹底指導。
細菌検査の実施と出荷者への指導。
- 3. 集客 SNS等を活用した情報発信、潜在顧客の発掘。店舗外の賑わいづくり。

<令和5年度>

直売所売上計画は89,560千円。経常利益は1,783千円。

- 1. 生産者の育成と出荷量、出荷品目拡大 新規就農者の育成・確保。生産者の指導・提言。
- 2. 食の安全・安心 野菜講習会開催と適正な農薬使用の指導。生産履歴の記帳と提出の徹底。
残留農薬検査と食品細菌検査を実施。
- 3. 6次産業化 独自の加工品づくり。既存の特産加工品の生産量向上。



【有限会社 勝山町農業支援センター】

<令和4年度>

売上総利益が△5,709,895円。経常利益が4,834,038円。当期利益は88,838円。

<令和5年度>

売上計画は21,200千円。経常利益は1,731千円。

国に意見書を提出しました。(一部抜粋)

少人数学級・教職員定数改善・義務教育費国庫負担制度負担率の引き上げをはかるための2024年度政府予算に係る意見書

<趣旨説明>

学校では不登校やいじめなど様々な問題を抱え、こどもたちの豊かな学びを実現するための教材研究や授業準備の十分な時間が取れない状況にあります。中学校の部活動も教員の長時間労働に繋がっています。過労死ラインの月 80 時間以上の残業など長時間労働の問題が最近マスコミでも取りあげられています。

2019年に文部科学省は「教員の働き方改革が必要だ」として、残業の上限を月 45 時間とする指針を定めた。

文部科学省の2022年度教職員勤務実態調査によると、国が定める「残業月 45 時間」の上限を超える時間外勤務は小学校では 64.5% 中学校では 77.1% となっている。また過労死ライン（残業月 80 時間）に達する教員は小学校 14.2%、中学校 36.6% でした。

こうした状況を改善するため中学校における 35 人学級や教職員定数改善で教員を増やしていただきたい。

<要請項目>

1. 中学校での 35 人学級に向けた少人数学級についての取り組みを強化。
2. 加配教員の増員や少数職種の配置増など教職員定数改善の推進。
3. 自治体で「学級編成基準の弾力的運用」の実施ができるよう加配の削減は行わない。
4. 地方財政を確保した上での義務教育費国庫負担制度の負担割合の引き上げ。

最低賃金法の改正と中小企業支援策の拡充を求める意見書

最低賃金近傍で働くパートや派遣など非正規雇用やフリーランスなど弱い立場の労働者の生活破綻は深刻である。

2022年の地域別最低賃金改定は、最高の東京で時給1,072円、福岡県では900円、最も低い県では853円に過ぎない。8時間働いても年収150万～190万円であり、最低賃金法の「労働者の健康で文化的な生活」を確保することはできない。地域間格差は、15年で2倍に広がっている。

OECD諸国では、公正取引ルールを整備するなど、具体的な中小企業支援策を確実に実施し、最低賃金の引き上げを支えている。日本でも、中小企業への具体的で十分な使いやすい支援策を抜本的に拡充・強化する必要がある。労働者の生活と労働力の質、消費購買力を確保、地域経済と中小企業を支える循環型地域経済の確立、誰もが安心して暮らせる社会をつくりたいと考える。

- ◎最低賃金法を全国一律制度に改正すること。
- ◎労働者の生活を支えるため、最低賃金1,500円以上をめざすこと。
- ◎最低賃金の引き上げができ、経営が継続できるように、中小企業への支援策を抜本的に拡充・強化し、国民の生命とくらしを守ること。

議会の活動を報告します!

活動報告

4月から6月までの議会及び議長の主な活動を報告します。

月日	件名
4月14日(金)	みやこ町体育協会 総会
5月12日(金)	みやこ町民生委員児童委員協議会 総会
5月18日(木) ~19日(金)	在日米軍再編に係る訓練移転先6基地 関係市町村議会連絡協議会 総会・視察
5月19日(金)	みやこ町商工会 第15回通常総代会
5月22日(月)	令和5年度京築北九州東部振興会議 総会
5月23日(火) ~24日(水)	全国町村議会議長会 議長・副議長研修会

月日	件名
5月25日(木)	令和5年度行橋京都地区防犯協会 総会
5月26日(金)	みやこ町シルバー人材センター 令和5年度定時総会
	令和5年度筑豊横断道路建設促進期成会 定期総会
5月27日(土)	じゃぶち森のビレッジ「山開き」
6月3日(土)	第34回全国「みどりの愛護」のつどい
6月28日(水)	人口減少問題対策特別委員会

飯本 秀夫 議員 8p

- 1 防災、環境について
- 2 農業について
- 3 町政について

小田 勝彦 議員 9p

- 1 定住促進、子育て支援政策について

松本 潤 議員 10p

- 1 最近加速している昆虫食について
- 2 通学路の安全化について
- 3 mRNA ワクチンについて

原田 和美 議員 11p

- 1 政治倫理条例について
- 2 入札制度について
- 3 豊津まちづくり有限会社について

六田 一美 議員 12p

- 1 行政手続きについて
- 2 福祉行政について

石松 雄太 議員 13p

- 1 環境行政について
- 2 ふるさと納税制度について
- 3 梅雨シーズンへの準備と注意喚起

岩村宗一郎 議員 14p

- 1 道路整備事業について
- 2 ヘルメットの努力義務化について
- 3 平成筑豊鉄道崎山駅について 長
- 4 みやこ観光まちづくり協会について

熊谷みえ子 議員 15p

- 1 教育行政について
- 2 75歳以上の医療費窓口負担2割化の
影響について
- 3 捨て猫、捨て犬対策について
- 4 選挙投票率の向上対策について

梅本 智明 議員 16p

- 1 グランドデザインについて
- 2 鳥獣被害防止対策について
- 3 職員のメンタルヘルスケアについて

柿野 義直 議員 17p

- 1 町内の公共交通について
- 2 建物等の管理について
- 3 防犯対策について

中尾 昌廣 議員 18p

- 1 学校安全対策について
- 2 子育て支援対策について

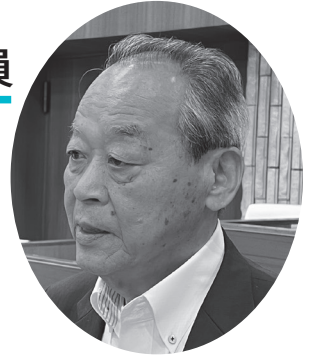
柿野 直子 議員 19p

- 1 安心・安全なまちづくりについて

一般質問

一般質問とは、議員が町の行財政全般にわたって、執行機関に対し、説明を求め又は所信をただすものです。
みやこ町議会では、年4回の定例会で一般質問をすることができます。

いいもと ひで お
飯本 秀夫 議員



動画はこちら

問 町政の柱並びに方向性を問う

答 持続可能な町運営を図る



町長 今後も対話と検討を行ない、グラウンドデザイン構想を構築する。

問 町内の地域性を活かしたコンパクトシティを目指す、企業誘致も行うと答弁いただいた。環境維持や高速道路等の立地条件を考慮したなかで、地域雇用の創出並びに、町内税収の得られる業種の誘致が必要と考える。

アクセス道路等を整備し、倉庫業やパッケージセンター類の誘致が最良と考えるが、いかがか。

防災について

問 県営河川の整備状況を問う。

都市整備課長 今川及び祓川の浚渫工事は順次行っている。

問 過去には、内部氾濫の水害が発生したが、整備状況を問う。

都市整備課長 町営河川は町が、その他用水路は、住民の協力で整備している。

問 水害時の一時避難場所として平成筑豊鉄道崎山駅の利用を進言してきたが、経過並びに結果を問う。

都市整備課長 地域住民並びに鉄道会社等と相談し、良い方向性を見出す。



7月10日(月) 今川の氾濫の様子(犀川崎山)

問 今川沿いのガードレールは、行橋市寄りから順次設置を計画しているとの答弁をいただいたが、犀川地域の危険箇所を優先できないか。

都市整備課長 可能と思うので、県土木事務所に意向を伝える。

農業問題について

問 「水張り施策」は、長年推進してきた土地利用型畑作物の栽培条件と異なり、原状復帰は困難。施策上の、水田活用

対象外圃場となれば、耕作放棄田の増加は避けられないが、町の取組を問う。

農林業振興課長 施策変更はないが、対象面積を調査し、耕作の継続に向けて検討する。

問 持続可能な農業経営には、地力の向上あるいは維持は欠かせない。もみ殻あるいは、処理場を持ち込む草類に家畜糞尿を混入せず、臭気の少ない堆肥づくりも可能か。

町長 実証実験をおこなった上で検討していく。



おだ かつ ひこ
小田 勝彦 議員



動画はこちら

問 給食費無償化に向けての対策は

答 今年度に限り、
給食費の全額免除を実施する

問 子育て支援を推進する

ためのみやこ町給食費補助事業が施行され、6年が経過した。

無償化には幾度となく一般質問されてきたが、「検討する」との答弁のみであり対策については。

町長 新型コロナウイルス感

策臨時交付金を活用して今年度の給食費を全額免除する。

給食費無償化について

問 平成29年、小中学校

生徒数は1395名、多子世帯補助対象者70名で就学奨励者含め402名。給食費の支払いの無い児童生徒は全体の約29パーセント、約3割をしめる現状であるが、令和4年度については。

教育長 令和5年度の小

中学校児童生徒数は1127名。令和4年度の実績で、第3子以降の給食費を補助する「みやこ町学校給食費補助金」は34世帯37名に計181万3760円を支給。就学援助などを受けている児童生徒は375名で、全体の約30パーセントである。

問 児童生徒の約3割が

給食費の助成を受けている。今年度の給食費は免除され、大変有難いとは思いますが、給食費の無償化を望む保護者は多くいる。

教育長 実施する場合、

恒久的な財源確保など実務的な問題がある。



問 豊津寺子屋事業が廃

止されることは定住促進、子育て支援を推進する町にとってはマイナスであるが、事業予算など給食費助成に組み替えるなど財源の確保は可能ではないか。

町長 一つ一つ精査し

て、めどが立ち次第実行する。

(要望) 今年度の給食費は

無償化ではなく免除だが、みやこ町として町長の決断ひとつと思う。給食費の無償化をどの市町村よりスピード感をもって実行していただきたい。

定住促進支援について

問 地方への移住定住がク

ローズアップされる中で「みやこ町」への移住などの問い合わせや移住件数は。

観光まちづくり課長 空

き家バンクの契約成立件数は61件。

問 職員の地域の把握、

定住促進対策への意見や提案のヒアリングは。

副町長 今年現地研修を

行い、ヒアリングなど業務に活かせるよう柔軟に取り組んでいく。



まつもと じゅん
松本 潤 議員



動画はこちら

問 最近加速している昆虫食について

答 現段階では学校給食には取り入れない

問 国内で昆虫食(コオロギ)を推進して、四国徳島

県では学校給食に導入している。なぜ今、昆虫食を推進しているか、我が国の人口は減少しているが、世界の人口は増加し、2050年には100億人を超える予想されており、このままでは食糧難になり、人間に大切なタンパク質が不足するのを少しでも補うことが目的とされている。しかし、コオロギには細菌が多く、加熱処理後も芽胞形成菌が確認されており、アレルギーの問題もある中、漢方医学には「コオロギは微毒で、胎児に悪影響を及ぼす恐れがあり、妊婦には禁忌」と書かれてあるが、今後学校給食への導入は考えているのか。

教育長 昨年11月に徳島

県で初めてコオロギの粉末を給食として提供したことは存じ上げている。安全性の観点等から反対意見もあり、現段階は学校給食に取り入れることは考えていない。

通学路の安全化について

問 現在勝山の通学路は

ゾーン30に指定されているが、まだ何も指定されていない箇所もたくさんある。豊津小学校の近くは、ゾーン30指定もされていない。

一般車の抜け道等になっており、かなりの速さで走っている。早急の対応を。

教育長 みやこ町では、

児童・生徒が安心して通学できるように、安全対



勝山黒田の30キロ制限区域

策を推進している。各学校から提出された危険箇所について話し合い、その解消に取り組んでいる。

【ゾーン30】

生活道路における人優先の安全・安心な通行空間の整備で、最高速度30km/hの区域規制と狭窄等の物理的デバイスの組み合わせによる交通安全の向上を図る区域のこと。

mRNAワクチンについて

問 3年前に新型コロナウイルスの流行が始まり、1年も経たないうちに外国製のワクチンが開

発・承認され、目まぐるしく年齢制限も下げられ、今では生後6か月で打てるようになっており、現在、死亡を含め、副反応の方がかなり増えている。

町長 乳幼児は保護者の

判断に基づき接種、希望する方に接種できるよう、接種体制を整え実施していく。個人の選択を尊重し、個人の判断が基本となる。

子どもの発育・発達の妨げにならないよう配慮することが重要である。



はらだ かずみ
原田 和美 議員



動画はこちら

問 政治倫理条例の必要性は

答 規範となるものであり必要である

問 行政が政治倫理条例を守っていないのに必要であるかどうか問う。

町長 町三役及び議会議員の倫理基準を定めた規範条例であると考えらる必要である。

問 町長は町民の父であり、副町長は母であり、町民は子供であると考え。その子供が真剣に質問しているが、この条例はできた旧町時代の経過から、違法行為をさせないための条例であると考え。それでも単なる規範条例だと考えるか。

町長 条例が出来た経緯については理解したが、規範条例だと認識している。

問 行政が条例違反を見逃している。守っていないと思うがどうか。

町長 現時点において、この条例に引つかかる事案があるとは認識していない。

問 町長は行政が違反していないとの回答であるが、納得できないので、後日話し合いを希望する。

入札制度について

問 設計業者が建設業の登録を取ったら指名に入っている。何故か問う。

町長 入札資格については県が評価した客観的事項と主観的事項の審査基準を満たせば、参加を認めている。

問 今回、私の記憶では、設計業者が、工事の指名

に参加したという今までにないことを実施したと聞いているがどうか。

副町長 国、県等の書類が揃えば、指名選考に入れると考える。

問 工事を設計する業者が、設計があれば設計を入札する。工事があれば工事を入札して、沢山の入札に参加するというのは、おかしくないか。指名委員長に伺う。

副町長 設計業者でも資格があれば制度上可能である。一般的な話でしか回答できない。

**豊津まちづくり
有限会社について**

問 国府の郷職員数は、旧豊津、旧犀川、旧勝山で何名か、また町外者数

は何名か問う。

町長 職員数は24名で、町外者13名、町内者11名。また、豊津在住10名、犀川在住1名。

問 豊津在住は6名と聞いているが、数字の間違いでないか、町外者がこれだけいるのか。

町長 人数は後程確認する。町外者が多いのは経営の方針によるものだと理解している。

問 国府の郷は地元の雇用、地域の農家の為に作った施設であるから、町としても目を配ってほしい。

町長 今まで三セクに対する関与が少し弱かったと思われるので、改善する。

ろく た かず み
六田 一美 議員



動画はこちら

問 スクールバスを町民が乗れる巡回バスとして取り組むことができないか

答 私自身も帆柱に住んでおり、「地域の壁」として問題意識は共有している

高齢者や過疎地域の
交通手段の確保を

問 みやこ町では独り暮らしの高齢者が増え過疎化も進み、交通手段に困っている人がたくさんいる。スクールバスを高齢者や住民が乗れるように、また運行回数を増やし巡回バスとして取り組むよう検討をして欲しいという意見がある。

町長 最低限度の交通手段を確保するためのあいりタクシーを町全域で運行している。あいりタクシーや路線バス、コミュニティバスなどの公共交通ネットワークが必要と考えている。

問 あいのりタクシーは行きの予約はできるが帰りの予約が困難という意見

見をよく聞くが改善できないか。

町長 希望の時間に利用できない場合があるということは認識している。地域公共交通会議で検討する。

行政の手続きが支所で完結できるようにならないか

問 高齢者や交通手段に困っている人は本庁まで出向くのではなく支所で手続きが完結できるようにならないか。

町長 将来にわたって持続可能な行政のコンパクト化を進めており、本庁での手続きをお願いしている業務もある。来年度実施予定の機構改革で業務全般の見直しを行い、簡素で効率的な行政運営を念頭に支所機能の充実

に取り組みたい。

問 来年度は新たな組織体制をスタートさせ、支所機能の充実を図るとしているが、現状並びに進捗状況は。

町長 令和6年4月に向け機構改革について庁内で検討している。具体的に決定していないが、支所の充実も検討中である。

問 みやこ町では高齢者が運転免許証の返納をしなくてはならないと不安に思っている方がたくさんいる。このことについて、支所機能の充実も交通手段確保も地域の方々と話し合いをし、早急に取り組んでいただきたい。

町長 問題意識は共有している。どうすれば克服できるのかということは重要な政策だと考えている。

支所でできる業務（一部抜粋）

- ・住民票、戸籍、印鑑、税などの証明書の発行
- ・家庭ごみ搬入許可申請の受付
- ・生ごみ処理機補助金申請の受付
- ・殺鼠剤配布（家庭用）
- ・国民健康保険証の再発行・限度額適用認定証の発行
- ・後期高齢者医療証の再発行・限度額適用認定証の発行の受付
- ・各種公費医療証の再発行
- ・血圧計購入の補助金申請の受付

豊津支所: 33-3111 犀川支所: 42-0001

【高齢者運転免許証自主返納支援事業】

1. 支援の内容
タクシー共通回数券（300円×100枚）1冊
2. 支援対象者
次の条件をすべて満たす人
①令和2年4月1日以降に運転免許証を自主返納した人（自主返納した日から6ヵ月以内の申請が必要）
②自主返納した日に満70歳以上の人

保険福祉課: 32-2516



いしまつ ゆう た
石松 雄太 議員



動画はこちら

問 空き家及び空き地等の適正管理に関する条例の見直しを

答 条例の改正を目指す

空き家・空き地の管理活用

問 空き家の件数は。

住民課長 713件。そのうち所有者不明などの空き家は、39件。

問 所有者不明な土地については。

税務課長 固定資産税納付通知書が届かなかったものというのが、今年度は100件。

問 2023年4月に民法改正が行われた。改正民法233条第1項と第3項については。

住民課長 改正民法233条第1項では、隣地の竹木の枝が成長し、隣地と境界線を越えてきた場合、越境された土地の所有者は当該竹木の所有者

に対し、当該竹木のその枝を切除するよう求めることができる。第3項では、竹木の所有者に対して切除を求めたのにもかかわらず、切除を求めてから相当な期間、弁護士

の判断では2週間程度という形だが、竹木の所有者が応じない場合、当該竹木の所有者が行方不明で切除を求めることができない場合、緊急を要する場合には、越境された土地の所有者は竹木の枝を自ら切除することができる。

ふるさと納税

問 令和4年度はふるさと納税金額が減少しているが要因は。

観光まちづくり課長 高額寄附返礼品JALクー

ポンが返礼品として取下げがあったため。また、物価上昇に伴う商品の原価の値上げや令和3年度好調だった返礼品の在庫が少なくなったため。

問 学校給食無償化の財源の一部として使用できないか。

町長 可能性として使用できると思っている。

問 ふるさと納税の今後の具体的な展望は。

町長 中長期的に町内事業者のサポートをしながら、場合によっては新規の事業を創生していくということを図りながら、新たな事業であるとか新たな特産品の開発をしていきたい。

豪雨災害について

問 令和3年の災害対策基本法の改正により、避難行動要支援者について個別避難計画を作成することが市町村の努力義務とされたが、本町の取り組みは。

総務課長 個別避難計画の策定には至っていない。避難行動要支援者ごとの個別避難計画の早期完成を目指す。

7月豪雨災害による避難所別の避難者数

		6/30~7/1	7/8~7/9	7/9~7/10	合計
サン・グレートみやこ	世帯数	0	0	0	0
	人数	0	0	0	0
すどりの里	世帯数	3	4	5	12
	人数	4	6	6	16
中央公民館	世帯数	3	4	6	13
	人数	6	5	7	18
伊良原コミュニティセンター	世帯数	2	0	7	9
	人数	4	0	9	13

いわむら そういちろう
岩村 宗一郎 議員



動画はこちら

問 国道496号線野峠付近のトンネル化についての取組は

答 関係機関に要望していく

問 国道496号線のトンネル化について今後の展望は。

町長 国道496号は福岡県東部と大分県北部を南北に結び、産業・経済・観光・生活道路として重要な役割を果たす路線であることから、トンネルの事業化についても関係機関に要望していく。併せて、町内においてまだ災害復旧がなされていない箇所もあり、子ども達の通学路等に対して歩道の整備等々、生活上の優先順位が高いところもあるので、要望はしていくが、町内における優先順位もあるということをご理解頂きたい。

ヘルメット購入に助成を

問 ヘルメットの努力義務化に伴う、町内在住幼児から高校生までのヘルメットの補助または支給等は考えられないか。

町長 補助する制度としては就学援助制度がある。法改正による努力義務化に伴って、ヘルメットの購入の助成制度を始めた自治体も実際にあり、それが当町において可能かどうか、今後検討していく。



問 ヘルメットのデザインを変更できないか。

教育長 各学校には、ヘルメットのデザインに限らず様々な場面で児童・生徒の意見を聞く機会をより多く設けるよう要望していく。

崎山駅の整備・活用

問 現在の崎山駅は損壊が激しい。洪水の際の避難所や観光拠点、教育施設または文化財保護の観点から現在の姿を存続できないかという声もある。当町としてどのように整備していくのか。また活用できないか。

町長 現在の崎山駅の整備については、建物及び土地の所有管理者である平成筑豊鉄道が行なうものと考えている。町としては、



現在の崎山駅

平成筑豊鉄道が改修・整備等を計画する段階において、地域からの意見を取り込めるよう働きかけていく。

みやこ観光まちづくり協会について

問 移転先の候補地はどこか。

町長 現在観光まちづくり振興審議会に総合案内所の今後の在り方について諮問しており、本年秋をめどに答申をいただく予定。



くまがい みえこ
熊谷 みえ子 議員



動画はこちら

問 みやこ町で中学校1校ではなく、
3中学校の存続でこそ町づくりを

答 グランドデザイン策定後に
アンケート調査を行う

問 中学校の再編整備で、候補地の選定作業を行い統廃合をすすめ、令和6年度開校を目指すというが、保護者の意向の確認のためのアンケート調査はしたのか。

教育長 アンケート調査等を実施するという具体的な計画はない。グランドデザインが策定された後にアンケート等を取る。

問 廃止された学校施設の活用は。

教育長 公共施設の跡地の活用については、まちづくりグランドデザイン策定の中で、総合的に有効的な活用の方角性を示していく。

75歳以上の医療費窓口負担2割化の影響は

問 政府試算は、被保険者世帯の約2割程度の370万人だが、みやこ町の実態はどうか。負担増による受診控えで手遅れにならないように、状況などの調査を求める。

町長 窓口負担割合が2割となる方には負担を抑える配慮措置がある。5000円を超えれば3000円までに抑える。難点は2つあり、一ヶ月単位だということ。1割負担から2割になった方しか対象にならない。1割負担の方が配慮措置は受けられない。

町長 県広域連合発表の令和5年3月31日時点のみやこ町の被保険者数は4189人。そのうち2

割負担の方は650人で、全体の約15%である。

問 医療費の負担増が高齢者の暮らしを圧迫している中で、高齢者医療費の助成制度創設をすること。

町長 高齢者医療費助成制度の創設は考えていない。

捨て猫、捨て犬対策を人と動物の共生の立場からの取り組みを

問 不妊手術の支援を求める。

町長 地域猫の不妊手術は、どうぶつ基金のサクラ猫無料不妊手術事業と協同し、希望者にはあすなろ猫事業の紹介を行う。

犬の不妊手術は、他の自治体の取り組みを注視して検討する。

令和5年度みやこ町議会議員選挙の結果

年代別	有権者数(人)	投票率	投票者数(人)	うち期日前投票者数(人)
18～19歳	302	29.47%	89	30
20歳代	1,196	33.95%	406	127
30歳代	1,202	41.35%	497	162
40歳代	2,009	53.01%	1,065	377
50歳代	2,247	62.04%	1,394	420
60歳代	2,597	76.36%	1,983	658
70歳代	3,458	79.41%	2,746	966
80歳以上	2,756	55.81%	1,538	546
合計	15,767	61.64%	9,718	3,286

投票率の結果
選挙投票率の向上対策を

問 移動投票所などの検討は。

町長 引き続き調査・検討を行う。

うめもと とも あき
梅本 智明 議員



動画はこちら

問

グランドデザインにより、
目指すまちづくりは

答

みやこ町版コンパクト
+ネットワークシティを目指す

問 グランドデザイン策定により、どのようなまちづくりを目指しているのか。

町長 目指すべき町の方向性として、①小さくまとまった町、②人が集まる町、③必要なものを必要だけ整える町として、みやこ町版コンパクト+ネットワークシティを目指す。

問 グランドデザイン検討委員会設置の目的について伺う。

町長 住民と行政が一体となった住民参画のまちづくりの推進を図り、町の振興及び各地域の特色を生かした発展につなげていくことを目的としている。

問 検討委員会に町議会議員が入っていないが。

副町長 議員の皆さんには参加いただいていないが、大事な将来ビジョンを定めるもので、報告会や勉強会等開催したい。

問 3つの拠点の整備方針、同時に進めることは困難だと思いが、優先順位等を定めるのか。

町長 もう少し詳細が明らかになってから説明したいが、順番は必要だと思ふ。

町との連携が欠かせないと思うが、町長はどう考えるか。

町長 空港の3000メートル化、そして、国道201号4車線化や東九州自動車道の早期4車線化等により、九州北部の物流増加が見込まれる。この恩恵をどう取り込むことができるかは一つの大きなポイントと考える。



国土交通省九州地方整備局
港湾空港部のホームページより

鳥獣被害防止対策について

問 アライグマによる被害も増加。狩猟免許がなくても捕獲できる市民ハンター制度の導入について伺う。

副町長 町で防除実施計画を策定し、指定された研修等を受講すれば捕獲等が行えるメリットはあるが、捕獲後の個体処理や経費等の課題があり、慎重に検討する。

職員のメンタルヘルスケアについて

問 メンタルヘルスは非常に重要な問題だが、原因にハラスメントはないか。

副町長 今時点でハラスメントという事案は発生していない。そうならないうちに取り組むことが一番大事だと思う。



かきの よしなお
柿野 義直 議員



動画はこちら

問 どこが公共交通体系を管轄しているか

答 行政経営課が行っている



豊津支所バス停

問 町内はどんな状況か。

金は811万円である。

町長 平成筑豊鉄道(利用

者1日400人)の町の助成金は年間2907万円、

3つの路線バス(行橋・香

春、1万7010人、行

橋・新町、1万518人、

行橋・豊津・木井馬場12

万4718人)助成金は

154万円である。これ

らは育徳館への利用者が

多い。あいのりタクシーは

令和3年度2199人、

令和4年度3745人で

増えたのは勝山96人、犀

川1113人、豊津33

7人。令和4年度の助成

問 あいのりタクシーで犀

川が増えている理由は。

行政経営課長 犀川駅・

帆柱のコミュニティバスが

令和4年から廃止された

ため。

問 交通弱者といわれる

人々の声をどうつかんで

いるか。

町長 保険福祉課におい

てニーズ調査をしている。

問 高齢者や車に乗れない

方はどうしているか。

町長 調査によれば「近

くの方や知人に頼む」、

「あいのりタクシーや路

線バスを利用している」

などの回答があっている

。また移動先には行橋

市が半数以上あがってい

る。この調査結果を活用

し地域交通施策にも取り

入れる。中長期的には知

見と実績を持った方に協

力を得ながら取り組んで

いきたい。

問 あいのりタクシーの

利便性向上の意見はどん

なものか。

町長 便数の拡充、帰り

の予約、目的地の拡充な

どの意見をいただしてい

る。行政経営課が意見の

集約を行っている。当面

は増便を検討したい。

農機具倉庫の管理は

どうなっているか。

問 管理運営はどこが

行っているか。

町長 地元にお願ひして

いる。利用状況については

地元の話し合いでまとめ

てほしい。地元から相談

があれば出向いていく。

防犯のための街灯

設置が必要だ

問 不審者に追われ逃げ

込んで来たという。街灯

設置が必要だ。

総務課長 現在、150

メートルに1基という基

準がある。今後は防犯対

策や必要性を検討しなが

ら、個人や自治会に設置

をお願いする事例も出て

くるが、町としてできる

ことを検討したい。

なか お まさ ひろ
中尾 昌廣 議員



動画はこちら

問 スクールガードリーダー
活用と対策は
答 学校安全確保のための
選択肢として検討する

問 近年学校におけるいじめや不登校等増加傾向にあると聞く。子どもの時に受けた心の傷が成人後の人生に様々な影響を及ぼしているという。本来人間形成の場である学校教育で、このような悲惨な事件があってはならない。どのような対策を取っているのか伺う。

教育長 いじめ防止等に関する組織的取組の強化、学校への指導と支援、教育相談体制の整備、家庭・地域との連携と支援を推進し、チーム学校として現場の教職員への支援体制を準備している。

問 先生方の目の届かない休み時間や昼休みなど第三者の目で発見できるスクールガードリーダーの活用と併せて、不審者侵入防止対策として校内、校外を見回れるスクールガードリーダーを活用し、週2〜3回ほど常勤することはできないか。今現在いつどこで起こってもおかしくないことであり、子ども達が安心・安全で学べる学校安全対策強化をお願いしたい。

教育長 学校を巡る様々なリスクの中には家庭や地域などの力を必要とするものも数多くあると考える。スクールガードリーダーの学校内での活用については今後、学校安全確保のための選択肢として検討する。

〔スクールガードリーダー〕
学校や通学路等を巡回し、安全に関する取り組みへの助言、危険個所の指摘、不審者への対応の指導などを行う人のこと。

小中学校給食費の無償化について

問 政府は異次元の少子化対策として、児童手当の拡充や多子世帯支援等来年度から3年間で集中的に取り組み年間3兆円を確保する調整に入り、また、子育て支援対策として全国一律の給食費無償化も提言されている。子育て中の世代での負担は著しいものがあり、我が町も子育てしやすい町、まちづくりとしていち早い給食費無償化をお

願いたい。

教育長 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用し、本年度に限って給食費全額免除を考慮しており、来年度以降は引き続き、恒久的な財源等を含め検討する。



学校給食



かきの なお こ
柿野 直子 議員



問

行橋警察署諫山駐在所の 建て替えについて

答

町としてできることは協力する

動画はこちら

問 平成29年に地域の代

表者、学校関係の代表者から諫山駐在所の早期移転改築についての要望書が提出されていると思うがどう対応されているのか。また、提出元へどう通知したのか。

総務課長 要望書の内容

は建築後、40年余りが経過して老朽化が著しい、駐車スペースが狭い、居住する警察官の方々の住環境整備等が主な内容であった。建て替えについては県が主体的に行うものと考えているが周りに町有地がないか、適当な土地がないか等検討したが町が建て替え用地を確保するのは難しいとされ現在に至っている。また、提出元への通知についての回答は確認できない。

問 現状は田川方面から

苅田町方面の自動車関連企業への通勤者で交通量も多くなっている。交通の監視、取り締まり、住民相談等を行う地域の安全安心の拠点としてはとても適当といえない。私も移転改築を強く要望する。聞くところによると福岡県警は地元が土地の用意、整備等をすれば古い順に整備すると聞いているが、知っているか。

総務課長 行橋警察署に

聞いたが、建て替えの時期にあると認識しており、建て替え用地を探しているとの状況だった。

問 安全・安心なまちづくりには是非この件を、

前向きにみやこ町として検討していただけたらと強く願う。

総務課長 行橋警察署、

あるいは県の方に地元の意向に沿えるような形で伝えること、地元の要望等を伝えることは出来るかと、今考えている。

防犯対策について

問 近年の発生している

刑犯罪は多種多様化している。都市部に限らずだいたん極まる窃盗事件などが発生しているがみやこ町の現状はどうなのか。

町長 令和4年の犯罪件

数は45件で窃盗犯が27件、粗暴犯が8件、知能犯が2件、凶悪犯が1件、その他が7件発生している。

問 防犯対策として行政

無線の活用、防犯カメラの増設など考えられるが現状の対策は。

総務課長 戸締り、暗い

夜道を一人で出歩かない等、自分でできる防犯対策を進め、町としては街灯の設置、高齢者へのオレオレ詐欺等への防災行政無線での注意喚起、あるいはホームページ・広報紙等での防犯に関する周知を行っている。

町立保育所にも防犯カメラの設置を

問 防犯カメラは犯罪の

抑止や捜索に有効な手段と考えられる。私立の保育園には設置されているが、町立の保育所には未だに設置されていない。児童の命と安全を守る体制に格差を感じるがどうか。

子育て健康支援課長 把

握できていないので、確認しながら検討していきたいと思う。

がんばっちやる!!

私達「みやこ町蕎麦の会」は令和5年4月に会を作りました。地域活動で豊津公民館で例会と一般のそば打ち体験を開催し年末には国府の郷で蕎麦の販売、また月に一度「よっこ四季犀館」にて、そば打ち実演及び蕎麦の販売をしています。

今回は四季犀館での活動を紹介いたします。第四水曜日に会のメンバーと一緒に地産地消にて「おろし冷汁蕎麦」を300円で提供しています。

会にはみやこ町在住の会員が多く、顔見知りの方々の来店で久しぶりなどと話しが弾むこともしばしばです。「そば打ちやってるんや」と



言ってそばの輪も広がりそうです。

その他の活動は、みやこ町社会福祉協議会の紹介で9月に「いきいきサロン」でそば打ち体験や試食会の予定をしております。小中学校でのそば打ち体験指導・色々な施設に出張そば打ちを楽しんで頂くボランティア活動もしています。町内外の方々の入会も歓迎しています。ぜひ練習会を見学してください。

これからの活動は、鹿児島県のそば打ち団体と交流を深めて、そばの栽培・製粉を見て体験していきまます。またみやこ町の人口減少・過疎化に少しでもお役に立てればそばの栽培・刈り入れ・製粉・販売を行い



そばを通して町おこしの一助となるよう考えています。

私は代表の屋成博幸と言います。そば打ちを

始めて15年経ちます。そばを通して仲間と出会い「仲間作り」「地域作り」「人格形成(自分づくり)」を基に学び、これからも「結」「相互扶助と協働の精神」で、みやこ町の皆さまと一緒にやっていければと思います。



蕎麦の会 代表 屋成博幸
☎090-3711-6315

編集後記

新型コロナウイルス感染症が2類相当から5類感染症に位置づけが移行し、町内でも様々な行事やイベントが再開されつつあり、コロナ禍以前の日常を取り戻しつつあります。

みやこ町花しょうぶまつりでは、町内外からたくさんの方に足を運んでいただき、きれいに咲いた菖蒲を見ていただいたり、各地域の神楽の披露や老若男女問わず楽しめる様々なステージイベントがあり、大いに盛り上がったイベントとなりました。今後も、このような地域が盛り上がるイベントが開催されるのをとても楽しみにしております。

今回の議会だよりは、一般質問者数が12名と多かつた為、いつもよりページ数を増やしてお届けしております。

報 告 員 会 特 別 委 員

委員長	熊谷みえ子
副委員長	石松雄太
委員	石松義直
委員	柿野美直
委員	六野一美
委員	松本直子
委員	田中勝馬
発行責任者	石松雄太

9月の議会定例会は、9月4日(月)開会予定です。議会傍聴においでください。